

## ●支援対象：小多田三区自治会（篠山市-小多田地区-）

### ○小多田三区の概況

- ・小さい田の多かった語源通り篠山川の支流の尾根川の流下する谷合いの集落で、それぞれの谷間に散在して各集落が分布している。小多田三区は、かつては小多田口と呼ばれ、谷筋である尾根川流域の入り口に当たる領域で、八上城の砦であった放光寺城址の位置する山裾の国道372号沿いの谷間に位置している。かつて集落の家屋が立地していた山麓から平地境の裾部に集団移転し、改良住宅としてひとつ区画街路に囲まれた住宅団地を構成している。それが小多田三区である。集落家屋の立地していた屋敷跡の山裾は、財産区として地域の公園緑地を整備した。したがって現在の住宅団地の背後の南面を取り巻く山裾部は、まとまった公園緑地となり、そして放光寺城址の里山へ連続する形で集落が構成されている。国道372号に面する北面には篠山川に向かって平坦な農地が開ける空間構造となっている。

### ○公園緑地の四阿の老朽化問題－緑化計画から公園緑地の再整備へ－

- ・篠山市の担当課から里づくり計画の策定意向があると聞いて里づくりの学習会を開催するが、その事前協議で自治会役員から「公園の四阿の屋根が老朽化し、葺き替えないと雨漏りで下の小屋組みまでが痛んでくる。予算がないがこの葺き替えにみんなで取り組みながら地域の活性化を図りたい」との意向を聞いた。私が見た小多田三区は、改良住宅のため、ほとんど陸屋根形状の統一デザインされた住宅で占められており、農村ながら丹波には珍しい整然とした住宅団地を形成している。整然と区画された街区に陸屋根でしかも1階屋上部にバルコニーテラスを有しており、そうした共通デザインの住宅で占められていることから、屋上テラスと玄関先を利用した緑化計画を策定し、花いっぱいモデル事業で実践するのが、効果的ではないかと思い、たんばぐみとして四阿の葺き替えと公園緑地の緑化修景も含めた緑化計画の策定支援で地域に入ろうと考えていた。
- ・ところが4月の里づくり学習会で役員と協議してみると、四阿の葺き替えを中心に公園緑地を再整備したい意向が強く、「公園がすっきりしないと地域全体を考えることはできにくい。住民がついていけない。」とする意向が非常に強かった。このため、市担当課も含めた協議で、今年度は公園づくりのワークショップを開催することとなった。
- ・このため小多田三区の丹波まちづくり支援事業は、公園づくりのワークショップとして支援するものである。具体的な支援内容と日程は、以下の通りである。

取組事項	内 容		備 考
	実施時期	活動内容等	
・四阿を中心に公園の再整備計画を策定。今年度はワークショップで公園の夢を語り、現地での確認調査、ロープを使った実測を経て、公園のゾーニングプランをみんなで策定する。	4月11日(日)	里づくり学習会—参画と協働の里づくりに向けて—	1回
	6月13日(日)	事前打ち合わせ・現地確認調査 ・ワークショップスケジュール(案)の提示	—
	7月24日(土) ワークショップ①	○ワークショップによる公園づくり ・体験ワークショップ、公園の想いを語る、公園夢プラン	1回
	8月8日(日)	夏祭りイベント	—
	8月22日(日) ワークショップ②	○「敷地を知る」そして「公園イメージ」へ ・敷地の読み取り、残したいものチェック、行為の検討	1回
	10月16日(土)	先進地視察:中町中村町「あかね坂公園」 ・地域の人たちと定款、予算書の確認協議。	—
	11月6日(土) ワークショップ③	○イメージからデザインへ ・ゾーニング(配置計画素案)プランの作成	1回
	11月21日(日)	四阿屋根葺き替えお披露目会 ・住民達で協力して葺き替えてきた四阿の落成式	—
	2月6日(日) ワークショップ④	○共有プランの提示 ・これまでの取り組み内容をまとめ、計画素案の提示	1回
	計		5回
○添付資料 ・ワークショップ当日資料 ・小多田三区公園づくりニュース			

○屋根の葺き替えが待たれる四阿



○夏祭りのイベント



○ワークショップの開催



○現地で確認しながら用意した質問用紙に答える住民



○ワークショップの開催



○先進地視察:中町中村町「あかね坂公園」



○四阿葺き替えお披露目会の開催

